

たちしょんは男の特権この特権が厳しいことになった。
サービスはこの特権を今も認めている。鉄パイプでガードしてくれるので
ふらつく者にもやさしくしてくれる。問題は家のトイレでおこった。そもそも
家のトイレははじめから男の特権は構造上みとめていない。ふらつくからだで
ミスることは無理のないはなしだ、こらえてくれ！とはいったもののかみさん
が許せるわけもなく、今は行儀よくおすわり。大小ともに座ってしている。面
倒であるが。

夏は薄着なのであまり問題はないが、冬ともなればそれなりに寒くないよう
に気配りし、着せ替え人形もだんだんと厚着になるのはやむをえない。
トイレが呼んでいる、急げ！こんなとき早く便器に座る必要がある。なのに、
なぜかおしりがでない。なぜか？下げるパンツとシャツを不自由な左手が頑張
って下すが同調し、何所までも一緒にさがるので用はたせない。 これをかみ
さんに訊くとヒートテックとのこと。それも「極暖」とのこと。よくみると
毎度引っ張たので伸びたようだ。これを身に着けることはいいのだけれど、あ
まり賛成はできない。むしろ、木綿の生地がいいのではないかと提案した。

ヒートテック 20/12/27 Hidekuro



冬ともなれば、雪も風も冷たく、寒さは身に染みる。
淡路島モンキーセンターではニホンザルが身を寄せ合って暖をとるといふ。センター長によると淡路島の猿は寛容性のある全国的にも珍しい群れ。助け合っ
て生きています。という。そういえば以前、きいたが、千葉・館山に外来種の
猿が畑を荒らすといていたが、その後どうなったか。
湯につかる猿はあちらこちらで紹介され、今では珍しくはない。

「ここは上州草津の湯・・・」と歌が聞こえてきそう。
温泉の湧く山奥では猿が、誰にも邪魔されずに気持ちよく湯を堪能している。
ときどきTVなどが紹介している。

でも、その後バスタオルを持っていない猿たちどのように水気をとるか？
多分、犬や猫がやるように「ぶるぶる」とやる。
それしかやりようはない。まして、風呂上がりの化粧などはしないだろう。

温泉と猿 2021/1/16 Hidekuro



本州山奥の猿、のぼせぎみ